

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ (28年12月号)

平成28年12月1日

近くの公園の木々も紅葉して冬仕度を始めました。高知駅前電停脇花壇(「みんなの庭」)は、パンジーやビオラなど冬～春花が植えられて陽光を浴びています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月の活動日のご案内です。

12月11日(日) 午前9時～11時

「みんなの庭」の手入れを行います。時節柄軽作業です。併せて、北口駐輪場周りの植栽では、夏の渇水期に枯れてしまった「ヒメシャラ」を植え替えます(次ページに関連記事)。

午後2時～3時 帯屋町筋中央公園前でチラシ配りと葛岡さんのギターライブ。

1月の月例活動日は15日(日)、2月は19日(日)を予定しています。

トピックス

○11月17日(木)

前川種苗さんの手をお借りして、「みんなの庭」で草取り、夏花の除去、そして固くなっていた土壌の掘り起こしと施肥を行いました。下の写真(左)は作業風景です。

○11月20日(日)

パンジー、ビオラなど冬～春花200株を植え付けました。写真(右)は仕事を終えたボランティアの皆さんの晴れ晴れとした顔々です。



駅前緑化活動は篤志家のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え(花苗提供、勤労奉仕、ご寄付など)をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata@ak.wakwak.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」名義 普通 0709695

「緑のまちづくり」を考える

(5) つい忘れがちですが

—「水」は命

高知駅北口駐輪場周りの植栽（右の写真）に私どもが約60本の苗木（ヤブツバキ、イロハモミジ、ヒメシャラ、トサミズキなど地元の木）を植えたのは1年ほど前です。ところがこの夏は異常な日照りが続いて一部が枯れかけてしまいました。散水しようにもここには水道栓が引かれておりません（設計段階で考慮の外？）。急遽近所の水道からバケツに貰い水をして運んだりしましたが結局救えませんでした。

毎年夏になると水で苦労します。駅の南口電停横の花壇「みんなの庭」の花にも毎朝水遣りをせねばなりません（右の写真）。始めのうちはバケツとジョウロ、ホースを使いました。見かねた農業関係の方が、穴をあけたチューブを敷設して水道栓に繋がれば手間が省けることを教えてくれ、さっそく設置しました。それでも、毎朝駅前に出勤？するのは楽ではありません。

水の大切さが身に沁みて解っていた昔の人々は水神様を祀りました。水がもとの争いもよくありました。「水」「命」のように大事にしました。

先々月号で人が「緑」を見て「心が落ち着き、安心する」のはDNAだと申しましたが、「水」にも同じことが言えそうです。したがって、古刹竹林寺の庭園はじめ日本庭園は昔から水が付き物です。今でも公園に行けば、池、噴水、流水などがごくふつうに見られ、「親水公園」が全国各地にあります。

高知のまちづくりについても、「水なら土佐湾になんぼでもある」といわず、身近な緑と一体で考えたほうがよさそうです。たとえば、高知駅前広場の東南隅っこにひっそりたたずむ石川啄木父子の歌碑（右の写真）あたりに緑と流水と木のベンチなどを配すると、風景がずいぶん変わるのではないのでしょうか。「ただ置いてあるだけ」ではもったいない話です。さらに、老朽した醜い歩道橋（写真右上部）を思い切って撤去してはどうでしょう。



竹林寺庭園（伝夢窓国師作）



石川啄木父子の歌碑（駅前）